令和５年度
第４号

支援センターだより

〒780-0972　高知市中万々78 番地
高知県立高知ろう学校　相談支援部
88-823-1640　　FAX088-823-1752
E-mail：k-ro@g.kochinet.ed.jp

今年も寒い冬がやってきました！補聴器や人工内耳の冬対策は大丈夫でしょうか？体調管理はもちろんのこと、補聴器や人工内耳の点検・管理もしっかりと行っていきたいですね。冬は次の４つのことに注意しましょう。

その①「結露（けつろ）」

寒い朝に窓ガラスが濡れているのを見たことがありませんか？これは、部屋の中のあたたかい空気が冷たい窓ガラスで冷やされたからです。補聴器や人工内耳をつけて屋外から暖かい屋内に入った時も結露（けつろ）が発生することがあります。水滴は、故障の原因！寝るときは乾燥ケースや乾燥機に入れるとともに、日常的にお手入れをしましょう。本体の結露防止には、汗カバーが有効です。

汗カバー

その②　電池

空気電池は空気を取り込んで発電します。冬場の乾燥した空気や、暖房器具から出る二酸化炭素は電池の寿命が短くなることがあります。対策として、暖房器具を使用する時は、こまめに換気する。朝は電池が冷えた状態であるため、１０秒ほど手で握って温めてから補聴器・人工内耳を入れる。シールをはがして２０秒ぐらい待つのも電池を長持ちさせるコツだそうです。

その③　暖房機器

補聴器や人工内耳は熱に弱いので、高温になるストーブの近くやファンヒーターの温風が当たるところには置かないようにしましょう。

その④　静電気

冬は静電気が発生しやすいですが、静電気により人工内耳のマップが壊れることがあります。静電気の起きやすい場面や衣服の素材（フリース）などに注意しましょう。静電気を逃すグッズを使うのもおすすめです。

静電気予防グッズ

研修案内のお知らせ　　四国オーディオロジー研究協議会　冬の会

日程：令和６年１月６日（土）
場所：徳島県立徳島聴覚支援学校
演題：調整中
講師：金沢大学教授　武居　渡　先生
開催形式：集合及びオンライン
※詳細は後日、家庭配布しますのでご確認ください。